

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 24日

堺市長 殿

提出者

住 所 大阪市住之江区北加賀屋3-3-44

オーエム工業株式会社

氏 名 代表取締役社長 高松 良行

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6685-0666

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	オーエム工業株式会社 泉北工場
事業場の所在地	堺市西区築港浜寺西町6
事業の種類	溶融亜鉛めっき加工
特別管理産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月～令和6年3月

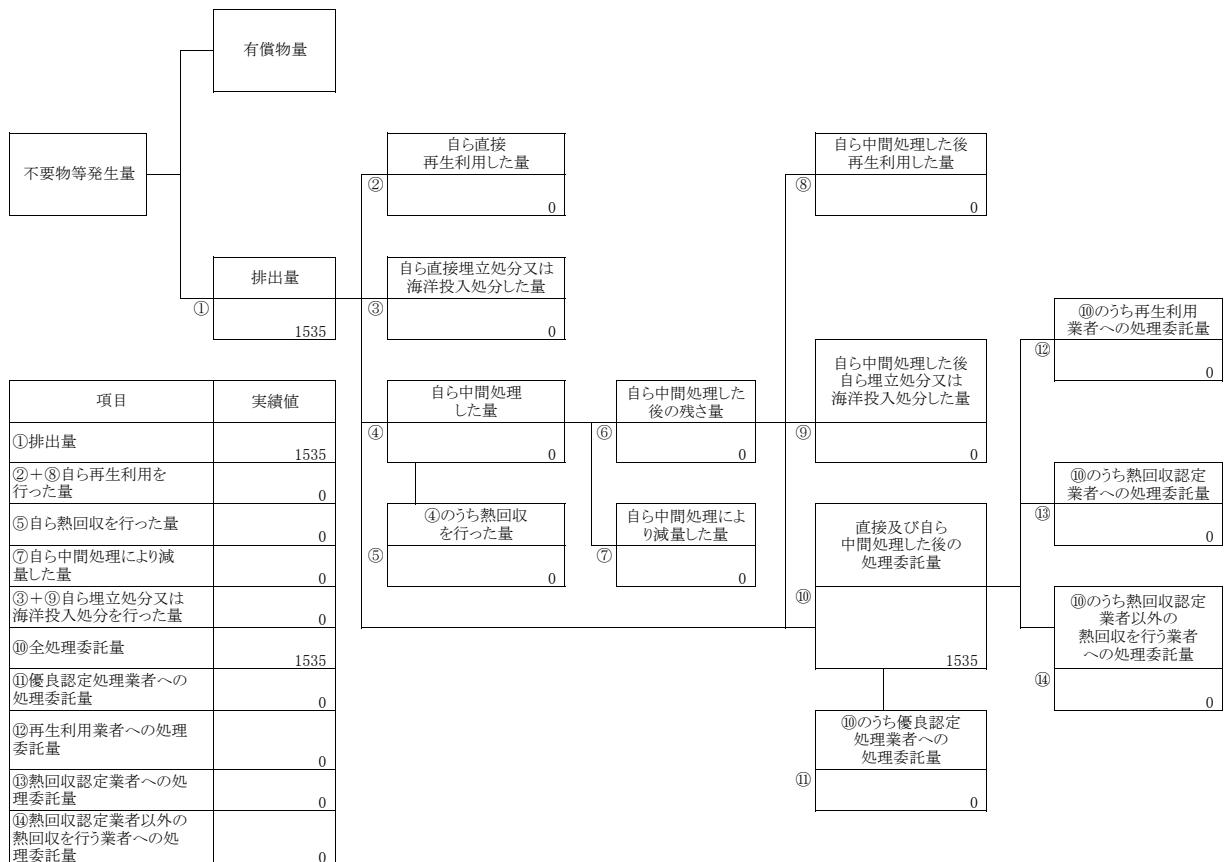
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

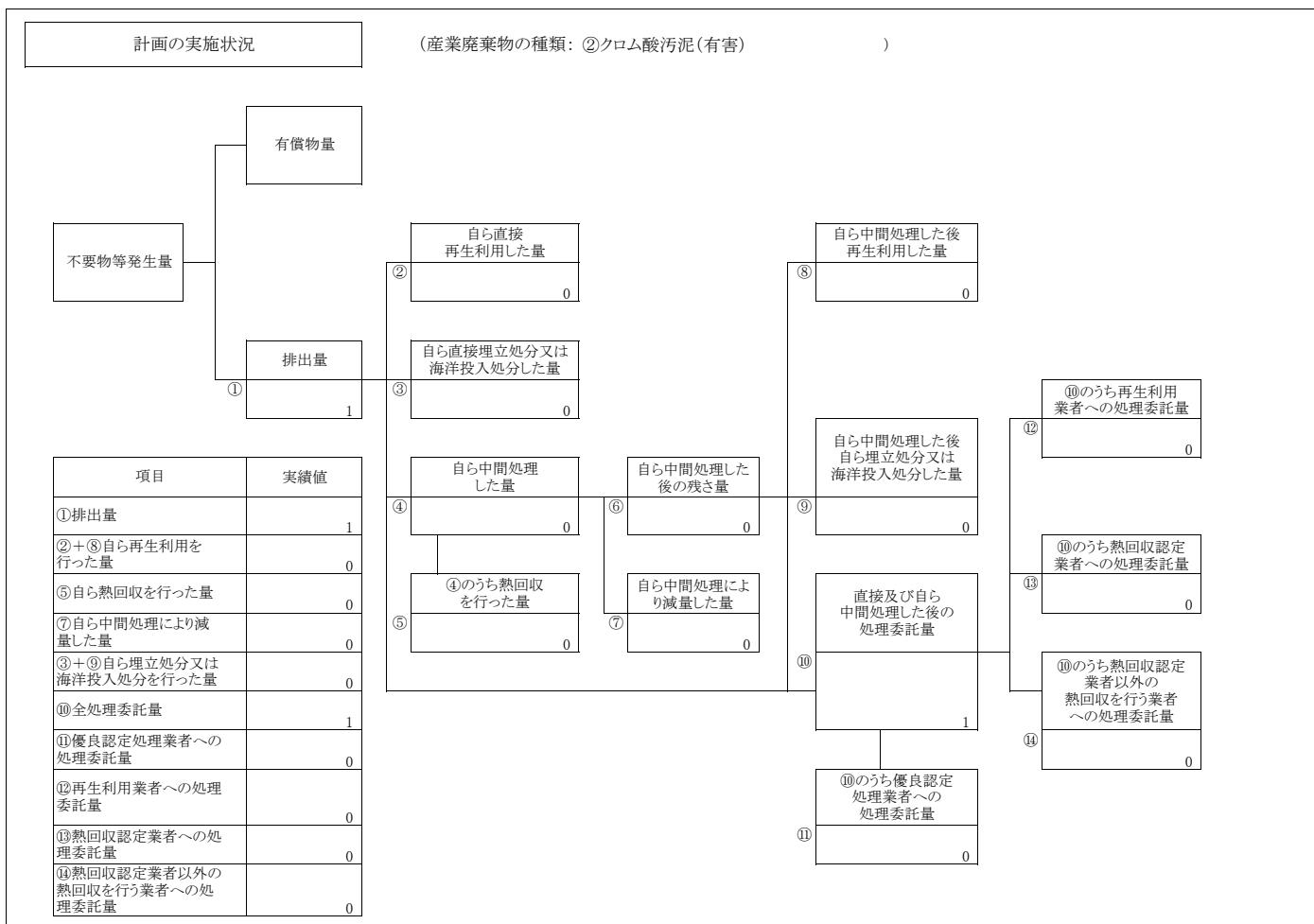
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,089 t	全処理委託量	1,089 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

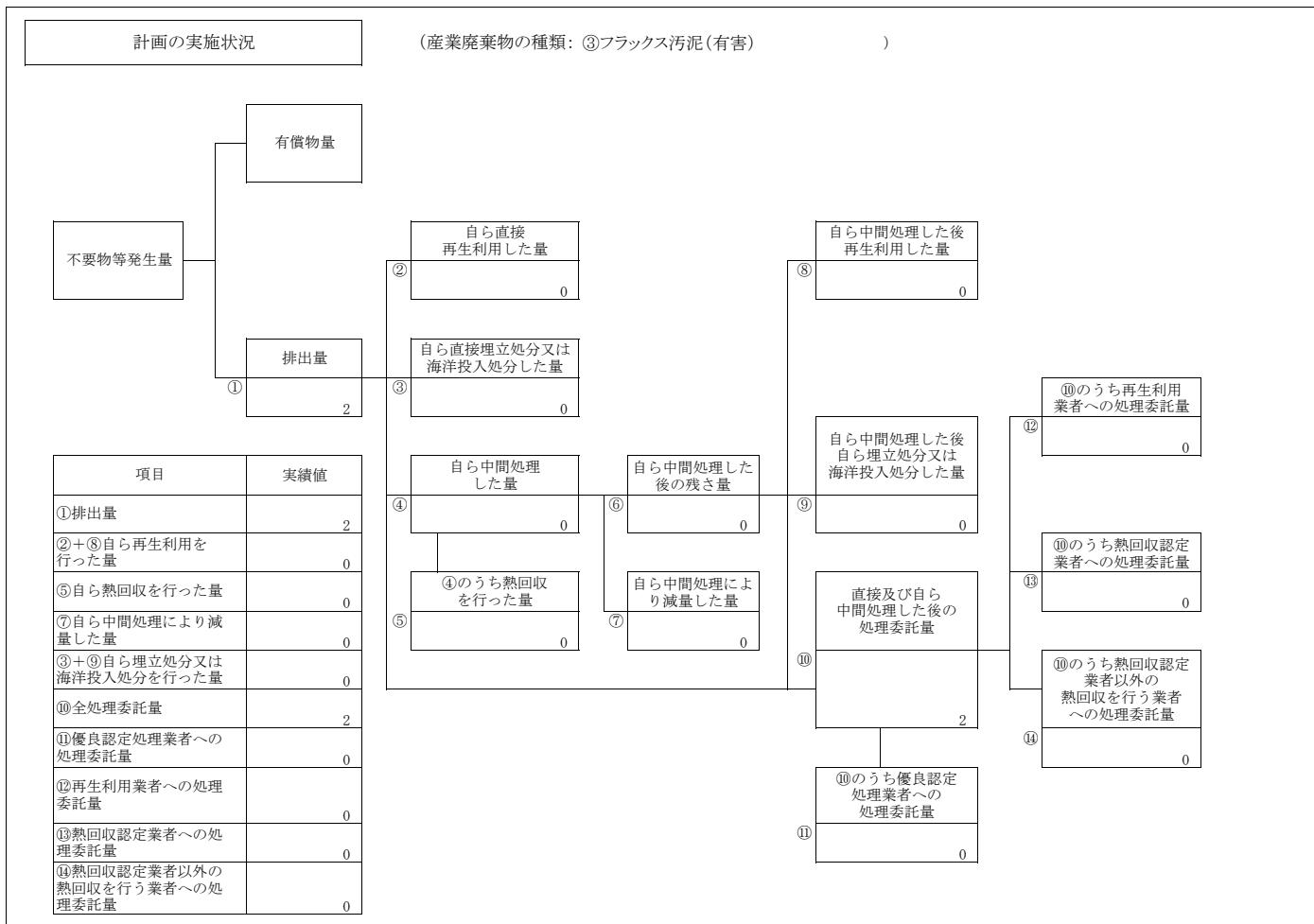
(日本工業規格 A列4番)

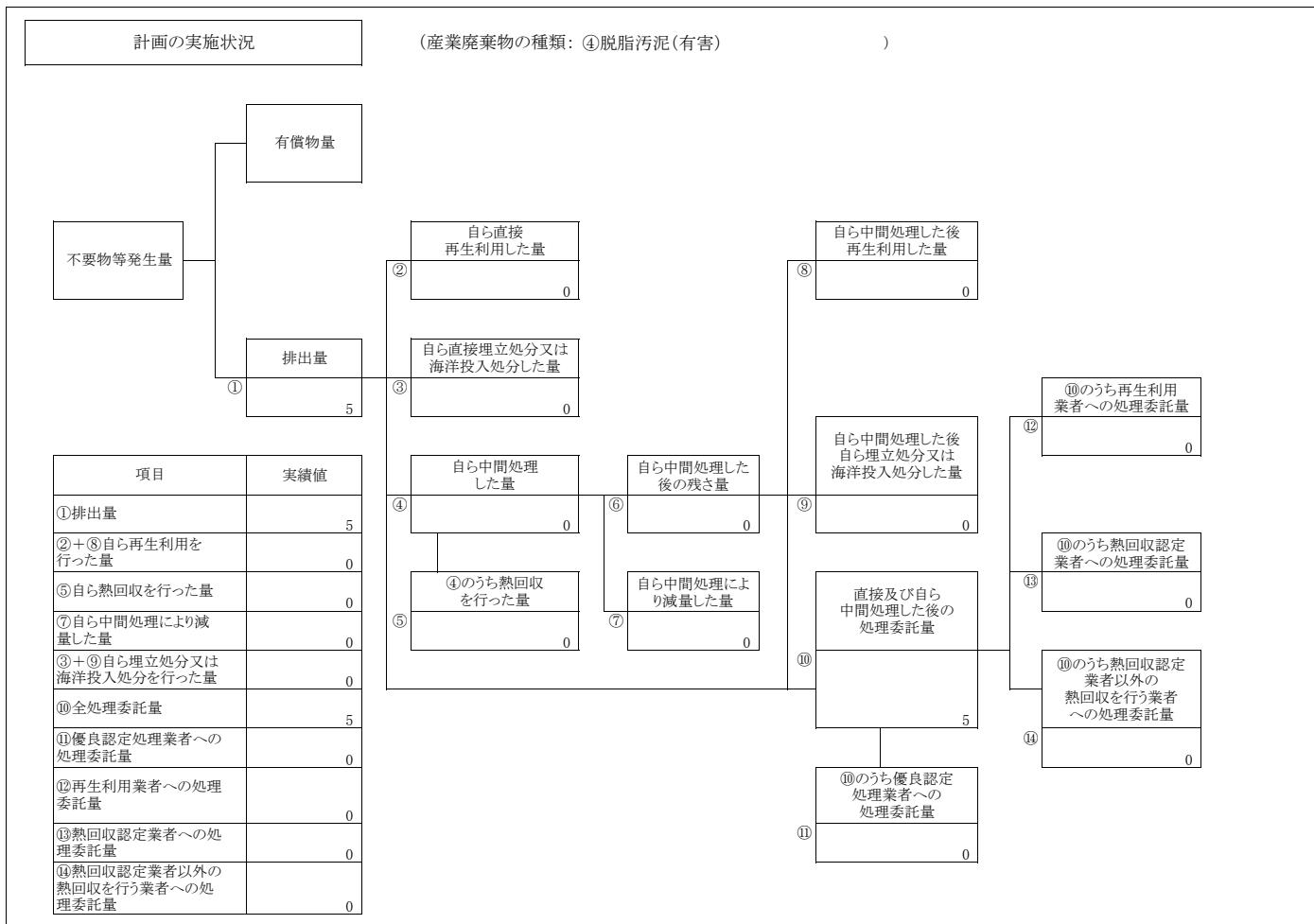
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①廃塩酸(強酸))





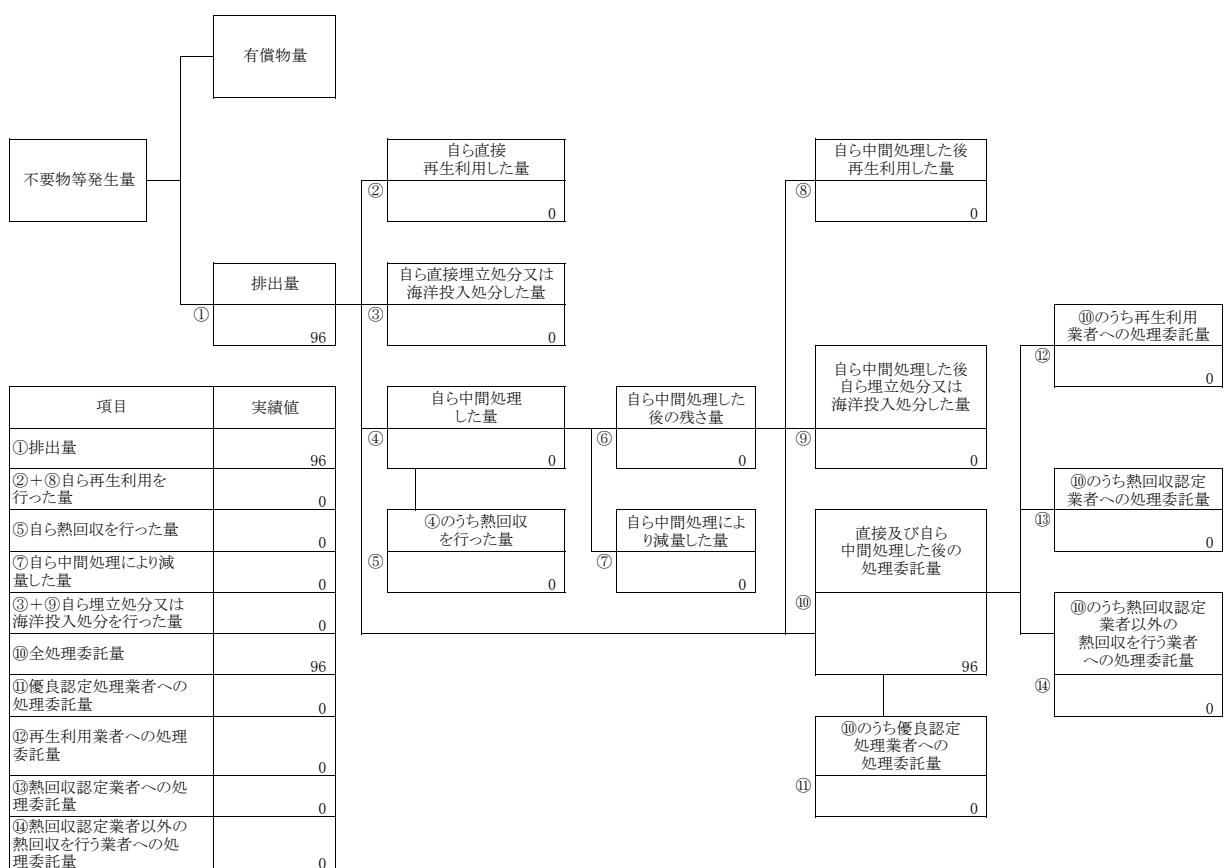




計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤廃クロム酸(有害))

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

提出者	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を割合的に 算定する方法の区分	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を割合的に 算定する方法の区分	報告担当部署の名称	報告担当部署の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

特別管理産業廃棄物を排出する事業場を割合的に
算定する方法の区分

報告担当部署の名称 報告担当部署の氏名 報告担当部署の電話番号 報告担当部署のFAX番号 報告担当部署の電子メールアドレス

東京西区豊島区西町6 オーエム工業株式会社 桑北工場 施設グループ

特別管理産業廃棄物の種類	特 別 管 理 産 業 廃 弃 物 の 実 施 状 況										2+④ 自ら販売又は海 洋投げ入れを行 った量	3+⑤ 自ら再利用又は 投入した量	
	1)排出手量	2)自ら販賣 再生利用した量	3)自ら直接建立 料分又は海洋投 げ入れを行った量	4)自ら中間処理 熱回収を行った量	5)自ら中間処理 により減量した量	6)自ら中間処理 した後再生利用 自ら建立料分又は海 洋投げ入れを行 った量	7)自ら中間処理 自己処理した後 の廃棄物量	8)自ら中間処理 自己処理した後 の廃棄物及び自ら 自己処理した後 の廃棄物量	9)自ら中間処理 自己処理した後 の廃棄物量				
コード 参照	名 称	1)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	2)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	3)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	4)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	5)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	6)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	7)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	8)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	9)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	10)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	11)の量のうち、中間 処理せざり直接建立 料分又は海洋投げ入 れを行った量	
1	7427 ①廃塩酸(強酸)	1,535							1,535				0 0
2	7426 ②クロム酸汚泥(有害)	0.9							0.9				0 0
3	7426 ③フックス汚泥(有害)	1.6							1.6				0 0
4	7426 ④脱脂汚泥(有害)	5.3							5.3				0 0
5	7427 ⑤廃クロム酸(有害)	98							98				0 0
6	⑥												0 0
7	⑦												0 0
8	⑧												0 0
9	⑨												0 0
10	⑩												0 0
11	⑪												0 0
12	⑫												0 0
13	⑬												0 0
14	⑭												0 0
15	⑮												0 0
16	⑯												0 0
17	⑰												0 0
18	⑲												0 0
19	⑳												0 0
20	㉑												0 0
合計		1,639	0	0	0	0	0	0	1,639	0	0	0	0 0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有效であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力とともに、第2面も追加してください。